

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の
政治

No. 165
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113
TEL 090-3621-1509
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

大阪の『闇』は消えず 橋下市長、第1Rは白蟻に負ける

大阪都構想とは何だったのか。それは、日教組、組合、自治労等々、そして医師会や薬剤師会、トラック協会等々の既得権益グループ、さらに共産党や、民主党左派、極左勢力が結託し、同和（解放同盟）が仲介の労を取り、一部の心無い自民党大阪府連を担ぎ、『闇の勢力』白蟻軍団を構成し大阪行政に入り込み、利権をむさぼる。二重行政とは何か。一つは大阪住民のための物。もう一つは、白蟻軍団の利権のための建物であった。もう一つの建物の建築費や維持費はその分が赤字として当然残る。その構図にカラカラボンで引導を渡したかったのが「大阪都構想」だ。

橋下市長を破壊主義者だという。当たり前だ。今この大阪の闇を破壊しないと、今後百年は破壊できないだろう。ある人は橋下は保守でないとい

う。今、大阪の闇を壊す話をしているのに、橋下市長が保守であるとかないとか、どういふ関係があるのだ。市長の名誉のために言うが、自民党ができなかったピース大阪を改修したのは橋下だ。

橋下市長には惚れて惚れて大好きな女（大阪市民）がいた。その女にはどうにも悪い虫（利権集団）がついている。義侠心に燃える橋下市長は悪い虫を退治しようとして張り切った。ところが女は虫を選んでしまった。やっつけられねえよ。橋下市長の胸中を考えると心が張り裂けそうだ。これが大阪都構想だ！

https://www.youtube.com/watch?v=TbviOPTA
「イーチューブ」H27-5-17 大阪都構想街頭演説」
先ず、大阪都構想をより理解していただくため、投票日の三日ほど前に頂いた徳永弁護士のコメントを紹介したい。徳永です。
大阪府の吹田市に住所があるため、都



西成区の街角で「大阪都構想で大阪の闇に引導を」と叫ぶ、不肖増木

構想についての住民投票の権利は持たないのですが、住民投票で賛成可決されることを心より祈ります。

大阪府の名称が大阪都になることには反対（日本には「都」は、東京と京都の2つで十分）なのですが、二重行政を整理するという行政の効率化と、大阪市の解体は急務だと考えるからです。

今回の住民投票は名称変更にはかわりがないというのですから、大阪市の消滅には大賛成です。大阪市の公務員天国は、すこいも

◀M 情報活動報告▶編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人たちに、「おばちゃん語」で政治を届ける

のです。市職員の「入れ墨」については個人の自由の領域だと思っ

「ご承知だと思いますが、大阪市の自治

自民党は長年解放同盟と手を結び社会

造を打破するのは、大阪府の自民党には

反日左翼は、マスコミ、法曹界、教職

大阪市には京大出身の活動家崩れが相

そして、なにより、橋下徹は、大阪「都」

「次世代の党」維新の党」となることで、

来年夏以降の憲法改正選挙に勝利する

大阪都構想の住民投票という決戦に敗

江田らは、維新の党にありながら、都

もつと重要なことに思えるのです。

現在の日本の最大かつ緊急の課題は

大阪都構想の敗因は、①大阪都構想の

と思う。

大阪都構想の真の目的は、「同和をはじ

「言頭述べた。ところがそのことをだれも言わない。

「言頭述べた。ところがそのことをだれも言わない。

街頭で演説している。ご年配の方が通

「先のことなどどうでもいい。私に親から、

大阪都構想の敗因は①ではなく、③が

「大阪都構想ができる」と年金が減る。

「市営住宅の家賃が上がる」とか。

なって、保育園は潰れ、市営住宅の家賃

電話をかけた。こんな嘘を組織総動員で

「じゃあ許可取らずにやる

「じゃあ許可取らずにやる

北は高収入地域。いわゆるエリート地域。

お年寄りの意識の違い、反対派の情報操

「増木

「増木

H27-5-24

※村上前議員は、現在、故郷福山市で市

長選の準備中

【村上 栄一(Bより)】

大阪のみなさんへ

橋下徹ほど大阪の未来を考えた人はい

結果に關しても導き出した市民の答えが正しいと一切の言い訳をしない橋下徹。代表が言わないのだから、維新の会の議員は泣き言や恨み節も言えません。だからこそ、維新を離れこれから大阪市を離れる私は言います。大阪市民は大阪市の議会の現実を知らず最低な連中に皆さんの未来を託しました。私は正直、大阪市の税金を納めたいと思いません。

大阪市だけではなく、大阪全体の発展を考えた時に絶対的に必要だったのが大阪都構想。成長戦略が一本化され、一番恩恵を受けるのは大阪市だというのは考えればわかる事。しかし、反対派の「大阪が無くなる」と情緒的な言葉に流された。大阪都構想とは大阪市役所と大阪府庁の再編である。大阪市議会の解体と再構築である。企業で言い換えれば大阪に本社を置いて、大規模な大阪支社を置くようなもの。

「大阪を守って」と選挙期間は言ってきました。でも、この一族の判断が大阪府市を破たん状態にまで導いてしまったという事実を大阪の人達は忘れて、その人たちの言っている事を信じてしまった。大阪都構想分らない。説明不足と云い、政界引退を期した人を無責任だと批判する輩がいる。大阪の成長の説明を7年間行い続けた人間を批判する理由は一切ない。大阪で何か景気が良くなったという感じが一般市民にはしない。平成21年度の試算では平成22年度大阪府役所は財政破綻するとさえ言っていました。感謝の反対は当たり前。

私たちの行政改革は伝わらないモノです。知ろつともしなかった人間に大阪を語るな。文化人と言う名の無能なコメントター。代表は誰よりも貪欲に学び正義を訴えるから、これまでの既得権者が

ら見ると悪にしか見えない。

藤井聡と言つて京大の教授も大阪市の土木関係の恩恵を一手に担つてきたシロアリの親玉やんか。

ここで調子に乗つてテレビに出まくつて、橋下徹の討論には応じなかった。まるで大阪市議会のようだ。大阪市議会は橋下徹を場外で批判してほとんど議論をしなかった。こんな連中の言葉を真に受けた大阪市民・・・どやねん。そもそもGDP激減する大阪に対して起死回生の一手はどこにあんのよ?

大阪がどのように成長していくのか?何も答えを持たない批判だけする人間を支持した大阪市民の罪は重いです。特に70代以上の有権者判断は大阪の未来を講じず、自分の事だけを案じた情けない決断に情けなくなる。

隠忍自重が必要

H27-5-18 町田市議 大西言也

これで戦いが終わったわけではありませんが。決して橋下氏を引きとめてはいけません。ここで翻意したのでは猿芝居に終わってしまいます。必ずやめることが今後の橋下氏を生かすことになると思えています。

時間が再び、必ず橋下氏を必要とします。あわてては事を仕損じます。世間に「橋下氏はぶれない」ことを強く、印象付けることが戦略です。

くれぐれも焦らず、ここはいったん終戦です。チャンスは必ずやってくる事を、いやもう一度、橋下氏を日本国の、世界の指導者にするために隠忍自重が必要。

ふたつの饅頭の話

H27-5-18 横浜 高見つひみ

一つは住民の為、一つは閥の利権屋の

為という、このふたつの饅頭の話はわかりやすいけど、はたして、大阪市民は、どれだけの人が知ってるかな?

饅頭の片割れの行方は、ある意味ずつとタブーとされて、会話にも出せないくらいの問題だったもんね。

善良な大阪市民のみなさん。そこから脱却するチャンスですね。
※ 彼女は関西生まれ。二つの饅頭とは二重構造の話

心から感謝申し上げます!

H27-5-18 大阪府議 上島一彦

僅差で反対票が上回り、誠に残念な結果となりましたが、ご支援頂いた多くの皆様に、心から感謝申し上げます! 本当に、有難うございました。

今回の住民投票の結果を受け、大阪都構想は一旦封印せざるを得ませんが、改めて改革の原点に立ち戻り、現行法の許される範囲で、住民生活を豊かにするための諸施策、大阪の成長戦略の実現等に、果敢に取り組んで参ります!

橋下氏は、凄い人

H27-5-18 宝塚市議 山本敬子

確かに橋下さんは、凄い人です。政治に興味の無い若い人達に、真剣に考える機会を何度も与え続けて来ました。何れにせよほんの僅差であり、今後の市政は賛成派の意見を確り取り入れて協調して行かねばなりません。

自民党の60%が反対に投票とありましたが、40%は賛成しています。今回の選挙は、大阪府が突然大阪都になる訳ではなく、賛成が上回っても直ぐに大阪都とはならず、大阪府のままです。大阪府が無くだけの話です。今後もう少し様子を見ていきましょう。

彼の可能性」再度期待

H27-5-18 大阪 池田博義

残念の一言。僅差で勝つと期待していたが願いは実らなかった。

維新以外の政党は、大阪府はなくなると感情論と反対論だけに終始して今回の「都構想」は潰れた。
安倍総理・菅官房長官がシンパシーを送ったのは、現状を破壊するぐらいの改革案を評価したからである。

戦い終わって、結果としてこれまで通りの「大阪市」が残って、大阪の繁栄は期待出来るのか?否である。君が言うように「橋下徹」を政治の世界から下野させてはいけない。俺は彼の可能性に再度期待したいと願っている。

憲法改正には欠かせない人物

H27-5-18 柏市議上橋泉

橋下は、憲法改正には欠かせない人物です。

安倍総理周辺を除いて、自民党に、この認識がないのが、残念です。腐った自民党をどうするか、大変な問題です。



あつてはならぬこと。自民党の街宣車の上に辻元清美、共産党、柳本卓司(自民)

都構想実現まで

H27-5-18 大阪 中谷良子

よく Jelly の活動を批判する人がいる。気持ちにはわかる。しかし、これ以上のおぼちゃん向けの文章を書ける人がいるだろうか。「わかりやすい」「要所をついて」「簡潔」。特に今回は刃をこいた。

私が書く手間が省けたので、95点。ただ、貴女は今以上のユーモアは差し控えるように。今で十分！ マスキ

<http://ameblo.jp/ryobabo/>
Jelly のブログより。

橋下市長が全身全霊を賭けて実現に向けて動いていた都構想が接戦の末、反対派がわずかにリードし、敗北を喫しました。これを機に橋下市長は今年いっぱいまでの任期満了を経て、市長を退く考えを表明しました。おそらく松井府知事も退く可能性は濃厚だと思えます。大変、残念な気持ちでいっぱいです。しばらくして気が変わってくれるのを待ちたいと思います。

私も本当はエアレースに行く予定でしたが断念し、知人にチケットを売り、都構想実現のための賛成運動に最終日まで共産党と喧嘩しながら友人たちと自転車にポスターを貼り付けて歩き回りました。気付けば、保守層も革新、反日勢力のデマに惑わされ、物事の本質を見抜けない方々が多い。橋下市長の力をもってしても既得権益の壁を打ち破れないなら

後どなたが世の中を変えていくことができるでしょうか？

反日勢力に国家が転覆させられても日本人は気付かず、日本人がこの国に劇薬を投じようとするのは、それ以上に抵抗されるといふことの証左ですね。しかし、あらゆる既得権益組織が総出で橋下市長に襲いかかったのに対し、蓋を開けてみれば結果が五分五分であったとは大健闘です！ この結果は、大阪市民が橋下市長の本気を感じ取ったからだと思えます。橋下市長は子供さん達も命を狙われ、ちびちゃんたちにもSDを付けてまで都構想に取り組みましたが、既得権に執着する議員や、敬老パスなどの少しの恩恵をずっと受け取りたいという回塊世代の高齢者や、橋下嫌いの保守派達に潰されました。

私の母が近所で、よく会う70代くらいのお婆さんがいらっしやるのですが、たまたま都構想の話になり、団塊世代らしいエピソードをお話してくれました。そのお婆さんは、
「私は橋下の独裁的なところが嫌や！いつも偉そう。敬老パスがなくなるのも嫌。パスがなくなるのも嫌。」「これはデマなのに。」と言っているにもかかわらず、このお婆さんはわかってくれない。このような半分痴呆かな、と思われるような老人に振り回された今回の選挙。そこで母が

「私達は、余命少ないんだから未来の子供のこと考えたら私達の生活が多少苦し

くなったとしてもいいやん。」と云って、「私には関係ないから」と仰ったそうです。

結局、大阪のお年寄りは自分たちの安定した暮らし、自身が得ることだけを考え、未来を背負っていく子供たちの教育環境、経済状況など全く視野に入っていないのです。

つまり、団塊世代、今の日本に公の心が無いのです。このような市民が大多数を占め、そして既得権益組織のデマやきれいごとにもまんまと騙され本人たちは、世の中のためになっているという洗脳を受け、悪事に利用され、手駒に使われ、真綿でじっくりと首を絞められていく感覚も麻痺し、また大阪は地獄へまっしぐら、こうやって同和利権、役人天国万歳に逆戻りしていくんでしょう。

国政では安倍首相は公明党を切り、橋下市長の力を借りて改憲に挑む予定も狂った。税率アップの再延期も考えていました。つまり、都構想否決と同時に改憲が遠のき、消費税アップも確定。

橋下市長は、議員をお金儲けとしてパツチを付けてる連中とは違います。ふつうは自分だけでなく家族の命まで狙われたら心が折れます。人間は父母や妻子がいると、志が変わります。だからこそ、志を確実なものとする鍛錬を怠ってはいけませんし、父母や妻子がいる者にとっては、肉親を裏切ったり、見捨てるような行為は簡単にできることではありません。しかし重要な志をまっとうするには、それくらいの覚悟が必要なんです。意味もなく保身ばかりに走る自民党大阪府連のような連中が、どうやって大阪市民を守れるのか。

橋下市長は、自身もご家族も危険と隣り合わせて大阪市政のタブーに、どんど

ん斬り込み真剣に取り組んでこられ、過去のとんでもない平松市長や太田府知事では成し遂げられなかった実績を残されています。

大阪市民は橋下市長の功績を考えてみるべき。もちろん橋下市長には左翼的な思想が間々見えたりもしますが、支持できない部分もありますが、プライマイで考えた場合、圧倒的なプラスですよ。

口では、なんとも言えるんです。しかし実行に移すことがどれだけ重要か。失敗しても、成功するにしても行動しない人は人ではない。成功する、失敗するを考えて、行動するのではなく、すべては自身の執念を成し遂げるためです。

試行錯誤で手探りで道を探り、時には大きな壁にぶち当たって、時には家族と涙し、仲間と喧嘩し、ぶつかり合ってきた成長して、大多数を敵に回しても、それでも行動に移してきたのが橋下徹という男だと思えます。こういったことは、生温い中途半端な人生しか送ってこなかった人には到底、理解できないでしょう。

私は、昔の茶髪でチャラチャラした弁護士時代の橋下市長と、今の橋下市長では志がまったく違うと思います。今のご時世、ほとんどの議員を敵に回し、大阪市民の代弁者のように物事をハッキリ白黒言える個性的な政治家がいるでしょうか。彼の過去から現在までの軌跡を辿るテレビなどでも過激発言が取り上げられており、「クソ教員」などと仰っておられますが大変元気があってユーモアもあっていいことじゃないですか。

彼のお陰で死んでいた大阪市の議会に注目が集まり、話題となり、市政は活性化されました。反対派であった自民党大阪府連、竹本会長は、反対が上回ったとテレビのニュース速報で「よっしゃー！

とガッツポーズをされていました。いやいやガッツポーズしてる場合じゃないでしょ。他党と共闘して反対してきたんですから、どう変えていくのが責任を問われているのに全く危機感も、緊張感もない困り果てる大阪府連。二重行政は都構想なしで解消できると言ったのだから橋下市長が総合区に前向きに働くのではなく、反対派の連中がせっせと働きまわってお手本を見せてください。

投票日の翌日のあるワイドショーで、司会者「官邸と自民党の大阪府連では大きな隔たりがあったようですね。自民党大阪府連は共産党と組んで反都構想を繰り広げていたようですが・・・」

あるジャーナリスト「大阪府連は候補者を立てないといけないところに立てなかつた活動してないんですよ。とにかく昔、竹下登さんが大阪は日本じゃないと言ってましたね。」

このジャーナリストの答えにすべてが凝縮されていますね。やはり、何もかも朝鮮組織に乗っ取られ、赤の影響が染み付き、巨大な利権構造が作られ、過去から現在までずっと腐敗し続けているんじゃないかね。

橋下市長は伊丹空港跡地を「外国人特区」にして外国人だけ税金を全てゼロにする、外国人労働者や移民の受入れ推進派である。外国人への地方参政権付与についても、「特別永住者への配慮は必要だ」などと発言している。こういっただけで保守層も反対を投じていたようですが、橋下市長は今回の住民説明会でも、街頭演説でもそういったことは仰っておられませんし、事実誤認です。そして橋下市長は、移民反対で外国人参政権も特別永住者のみで根本的には反対していません。事実を知られば考え直す可能性もありますよね？

ますよね？

まず大阪市民ではない、大阪の間の部分を全くご存じない方々は批判し、勝手に想像上だけで話を拡大解釈し、展開されるのはいかがなものかと思えます。

それと保守層は今後、四角四面で物事を考えるのではなく、伝統的価値観を維持しつつ、視野を広く、寛容さ、柔軟さをもつことが求められると思います。

橋下市長が退き、大阪市民を見下し、愚弄し、税金を搾り取る入れ墨役人の公務員、大阪の教育を破壊してきた日教組、無能で恥知らずな二一ト議員の高笑いが聞こえてきます。

維新は橋下市長はじめ、高学歴のერთ集團。進学塾の先生は務まるが補習塾は無理。今思えば、下町は補習塾の塾長増木と労働者代表の志賀(「上島組」こと上島府議後援会若頭)、大阪のおばちゃん代表のシメジ(中谷良子)に初めから街宣を任せてほしかった。もうちょっと違う結果が出ていただろう。

私は「同和利権との決別」、志賀君は「自民党の売国奴」。シメジは大阪市役所に1週間釘づけで反対派の街宣車を蹴散らす。街宣車が来ると「白蟻軍団がやってきました。」とマイクで叫び続けた。話はダブルが、我々三人は決して品がないとは言えない。自覚がある故遠慮もあった。橋下市長や松井知事は多くのパネルを準備し、こうすればどれだけ予算が浮くとか、二重行政でこれだけ損をしたとか、額に汗びっしょりで説明されている。しかし、なぜ二重行政が発生したかを言っていない。「利権保護、利権獲得の為二重行政を行ってきた。そこにメスを入れたい。」これが一番重要ではなかったらどうか。 増木

過激神主は今も過激に

H27-4-10 京都北山細野の神主 中村重行

神主って、少々、いやかなり過激でも濃厚に見える。特ダネ 増木

彼らのルーツをあぶり出すべきではありませんか？ 彼らが純粹の日本人とは信じられないのです。

話はズレてしまいましたが同胞が北朝鮮に数百人が誘拐され虐げられているのにわが国政府は「対話と圧力」で解放をお願いするしか対策をとっていません。その上テロ集団イスラム国にまた殺されてしまいました。政府の「国際世論に訴えて」解決してもらおう？

誰が、何処の国が日本の訴えを解決してくれませんか？ 日本のために解決してくれ国がありますか？

自国で解決するしか解決方法が無いのは判り切ったことなのに。

「国連第一主義」など、まだホザイしている政治家がいますが「ガラケイ」ではないが「ガラ政」でしょう。

「目には目を」が国際ルールなのです、日本以外は。いい加減に報復する行動を表面に出さなくては日本だけが「世界のいじめられ児」になってしまいます。軍隊とは国民と国を命をかけて守るのが任務なのです。命が第一では戦いは出来ません。だからどこの国でも軍人は尊敬され家族は保証されるのが原則なのです。支那のように例外はありません。

テロにでも、北朝鮮にでも、産経新聞社記者を拉致している韓国に対しても報復をしなければ何時までたっても解決はしません。「対話と圧力」で解決に努力するなどと言う言葉は二度と聞きたくない。プライドを失った民族は奴隷にしかたれないのです。

中山恭子先生講演会質問

ちよっと長いので、初め教育再生を抜粋した。いや、拉致も大事だ。憲法改正も大事だ。
結局全部載せた！！？？ 増木

20150218代表質問

2月18日参議院本会議で、次世代の党を代表して、中山恭子議員が質問

○中山恭子君 次世代の党、中山恭子でございます。

安倍総理に対し、会派を代表して、施政方針演説に関し、質問いたします。

まず、**平和の維持**について伺います。今般の1-Sによる残酷な殺人行為には強い憤りと悲しみを感じています。改めて、犠牲者の皆様に心から哀悼の意をさげます。

今回、安倍内閣が自ら被害者の救出に当たったことは、画期的なことであると敬意を表します。

人質救出がいかに困難なものであるか、一九九九年に中央アジアで日本人鉱山技師の救出に携わった者として十分理解しています。

この拉致事件も、イスラム原理主義者たちが中央アジアのフェルガナ地方にイスラム国の建設を目指して活動していたさなかに起きた事件でした。四人の被害者が無事解放された後、ウズベキスタンの関係者を通してアフガニスタンのタリバンに日本をテロの対象とするのかと問いたしましたが、自分たちは日本が米国によって原爆を落とされた国であることは知っている、しかし、日本は欧米諸

国の一員であり、攻撃の対象となるこの返答がありました。

私は、政治家の最も重要な役割は平和を維持することであると考えています。

今、国際社会は激動の中にあります。国際テロの組織の動きは一国にとどまる問題ではなく、国際社会全体に広がる問題であり、一丸となって対抗しなければ防げません。

総理は、日本が国際社会の一員としての役割を果たしつつ、平和を維持していくことについてどのようにお考えか、御所見を伺います。

次に、北朝鮮による**拉致問題**について伺います。

今回の人質救出の動きを見ながら、私は北朝鮮によって拉致された被害者に思いをはせました。北朝鮮に監禁されている被害者の多くは、両手両足を縛られ、猿づつわをはまれ、船底に押し込まれて連れ去られた日本人々々です。北朝鮮工作員が日本国内に侵入することを防げず、拉致されたことが分かっていながら放置してしまった案件であり、現に今も続いている非道なテロであります。

今回の総理の施政方針演説を伺い、私は危惧の念を抱きました。総理は、昨年、所信表明演説で、全ての拉致被害者の安全確保及び即時帰国に向けて全力を尽くしてまいりますと述べられました。しかし、今年の施政方針演説では、拉致問題について、北朝鮮は、迅速な調査を行い、一刻も早く全ての結果を正直に通報すべきでありますと述べられ、被害者の救出や帰国については一言も触れておりません。

この違いは何を意味しているのでしょうか。総理は、被害者の救出に向けての熱意を失われたのでしょうか。又は、新たな情報に基づく判断なのでしょうか。総理、その真意をお聞かせください。

憲法改正について伺います。

自民党は、結党時から現行憲法の自主的改正をうたっています。最近では環境権や緊急事態条項など受け入れやすいものから改正するとしています。

自民党の改正草案QアンドAにありますように、現行憲法は主権が制限された中で制定された憲法であり、前文を始め、独立国として欠落している項目など、重要な改正が必要であることを考えれば、その整合性を確保するためにも一括改正することが望ましいと考えますが、いかがでしょうか。総理の御見解を伺います。

教育の再生について伺います。

教育の大切さは言わずもやしません。ゆとり教育が見直され、教育改革が着実に進められていることを高く評価します。

しかし、占領政策から派生した自虐教育が七十年もの長きにわたっていまだに続いており、ゆがんだ教育がゆがんだ国家観を形作っています。第一次安倍内閣で改正された教育基本法では、国を愛する心という表現が使えず、国を愛する態度を養うとなっております。愛国心という言葉を使うことがはばかられるような国であってはなりません。

総理の言われる、日本を取り戻すために、家族、ふるさとを大切にし、生まれ故郷に誇りを持ち、豊かな心を育む教育を行うことが大切であると考えます。そして、それが他の国の人々、文化を尊重することにつながります。

教育の再生、教育基本法の再改正が必要であると考えますが、総理の御見解を

お聞かせください。

外交の在り方について伺います。

日本の外交は、これまで、経済支援に頼り、上辺の友好関係を重視する余り、日本をおとしめている慰安婦問題や南京事件などについて、日本の名誉を守るための毅然とした対応をしてきませんでした。

史実に基づき真実の姿をしつかりと主張し、正しい理解を得ることによってのみ真の友好関係を築けると考えますが、総理の御見解を伺います。

公共事業について伺います。

公共事業は、政府が責任を持って実施しなければならぬ、まさに国の仕事です。公共インフラは、人々が快適に生活するための基礎であり、生産に不可欠な要素であります。

昨年十月に発表されたIMFの世界経済見通しでは、これまで公共事業は無駄であるとしていた考え方を変更し、インフラの必要性がある国では今がインフラ推進の好機である、また、公共投資は生産の要であり、借入資金による公共インフラ投資は正しく行われるならば元が取れるだろうと指摘しています。

今の日本の状況を見れば、老朽化した橋、トンネル、上下水道など、社会インフラの再建や防災インフラの強化は喫緊の課題です。

震災に強い共同溝の敷設、景観を損なうことなく津波を防ぐ町づくりを、例えば二百兆円規模の基金をつくり、全国規模、長期計画の下で推進する必要があります。考えますが、総理の御見解を伺います。

文化による**国際貢献**について伺います。長い歴史の中で育まれた日本の文化は、相手のことを思いやり、美しいものを尊ぶ奥行き深い文化です。

二十世紀は西洋文明が支配した世紀と言われますが、二十一世紀はそれぞれの国や地域の文化の大切さが認められ、文化の交流が深まる世紀になると考えています。

日本は、国際文化交流の拠点として非常に適した国であります。日本各地で、あらゆる国々、多くの民族が集まる国際的な文化交流の祭典を開催し、その後百年継続することを目指すなら、日本は世界から、文化の国、世界の文化交流が行われる国として親しまれ、国際社会に大いに貢献することができると考えます。

世界の文化が輝き、あふれ、交流する場、そんな日本をつくっていくことではありませんか。若者たちも高齢者も生き生きと動き出すでしょう。地方創生にもつながります。

この構想について総理の御見解をお伺いし、私の質問を終わります。(拍手)

〔内閣総理大臣安倍晋三君答壇、拍手〕

○内閣総理大臣(安倍晋三君)

国際テロ組織への対処についてお尋ねがありました。国際社会は一致団結して「S—L」やアルカイダ等の国際テロ組織と闘う決意を鮮明にしており、国連安保理はこれらの国際テロ組織を非難し、資金の提供、武器の供与、戦闘員の移動、身の代金の支払等を禁じる決議を累次にわたって採択してきています。

我が国としても、これら国際テロ対策関連の安保理決議を厳格に履行するとともに、食糧、医療などの人道支援を拡充し、テロと闘う国際社会と一丸となって世界の平和に積極的に貢献するよう全力で取り組んでまいります。

拉致問題についてお尋ねがありました。拉致問題は安倍内閣の最重要課題であり、私の被害者の救出に向けた熱意は、

昨年の施政方針演説のときといたさかも変わっておりません。昨年との違いは、北朝鮮が国防委員会から特別の権限を付与された特別調査委員会を立ち上げ調査を開始したことであり、その観点から、今年の施政方針演説では、拉致問題について、北朝鮮は、迅速な調査を行い、一刻も早く全ての結果を正直に通報すべきでありますと述べたところであります。

いずれにせよ、御家族が自らの手で被害者を抱き締める日が訪れるまで私の使命は終わりません。全ての拉致被害者の救出に向けて対話と圧力、行動対行動の原則を貫き、全力を尽くしてまいります。憲法改正の方法についてお尋ねがありました。憲法改正の原案は、国会法において、内容において関連する事項ごとに区分して個別に発議する旨定められております。これは、個別の事項ごとに民意を正確に反映させるという要請と相互に矛盾のない憲法体系を構築するという要請とを調和させる趣旨であると承知してあります。憲法の改正については、一つ一つが大変重い課題であり、時間が掛かるうとも丁寧の一つ一つ審議をしていくことが重要と考えます。実際にどの条項から、またどのよう改正していくかについては、国民的な議論の深まりや憲法審査会における検討を踏まえ判断されるべきものと考えます。

愛国心と教育基本法の再改正についてのお尋ねがありました。第一次安倍内閣で改正した教育基本法では教育の目標として、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことを規定することもに学校教育法や学習指導要領を改め、基本法の理念に沿った教育内容の充実を図ったところであります。子供たちが国に誇りを持ち、郷土を大

切にできるようにするためには、教育基本法を再び改正するのではなく、現在の基本法の理念に沿って教育を充実していくことが重要と考えます。今後、道徳教育の抜本的な改善、充実を進めるなど、教育再生に全力で取り組んでまいります。日本の名誉を守るための毅然とした対応についてお尋ねがありました。

我が国としては、客観的な事実に基づく正しい歴史認識が形成され、日本の取組に対して国際社会から正当な評価を受けることを強く求めていきます。国際社会の正しい理解を得るべく、これまで以上に戦略的かつ効果的な発信を強化してまいります。

共同溝等についてお尋ねがありました。

インフラの整備に当たっては、従来より、社会資本の老朽化対策や防災・減災対策などに重点化して行ってきたところですが、特に、御指摘の共同溝については、防災の観点からも、また町づくりの観点からも重要な施設と認識しております。今後、国民の生活を守るため、真に必要な社会インフラの整備を着実に進めてまいります。

国際文化交流についてお尋ねがありました。二十一世紀は、それぞれの国や地域の文化が大切にされ、相互尊重の精神の下、文化の交流が深まる世紀になるとほしいと期待しています。その中で、日本が国際文化交流の拠点となり、世界の文化が輝きあふれ交流する場を提供できるなら、こんなに素晴らしいことはありません。そうなれば、御指摘のとおり、若者たちも高齢者も生き生きと動き出します。地方創生にもつながると考えます。是非、この場におられる議員の皆様と力を合わせ、このような日本をつくっていただきたいと思えます。(拍手)

ヘイトスピーチ抑止条例案提出 大阪市

公共物に落書きをすると処罰される。であるならば、最大の公共物、「空気」に対する落書きも処罰されなければならぬ。

「人種・民族に係る」のみならず、特定の団体、役所、個人等に対するき排諷、罵り等は空気の落書きになるのではなからうか。私もマイクを持った時の言葉は荒いが、全員考え直す必要がある。増木

ヘイトスピーチ抑止条例案提出：全国初 大阪市 2015年05月23日09時48分 読売

大阪市は22日、民族差別をあおるヘイトスピーチ(憎悪表現)を抑止するための条例案を市議会5月定例会に提案した。ヘイトスピーチを行った人物・団体の公表や、被害者への訴訟費用支援などを行う内容で、自治体での条例化は全国初。条例案が可決されれば、秋頃にも施行される予定だ。

ヘイトスピーチを巡っては橋下徹市長が昨年、問題視して条例による規制を提案。市の審議会でも条例化に向けた議論を重ねてきた。「市ヘイトスピーチへの対処に関する条例案」で、ヘイトスピーチを「人種・民族に係る特定の属性を有する個人・集団を、社会から排除すること」などと規定。被害者らの申し立てを受け、学識者でつくる審査会が問題行為と認定すれば、個人の名前や団体名を市のホームページなどで公表するとしている。

また、被害者に訴訟費用を貸し付け、裁判でヘイトスピーチが認定されれば、費用返還は免除される。

